



令和2年度のまとめ

校長

2月も下旬に入ると、令和2年度も残り一ヶ月となり、総まとめの時期となりました。本年度はコロナ禍のために、教育活動も「3密」が重ならないように留意しながらの学習活動となりました。それでも工夫しながら、学習や学校行事をつないでできました。

【鹿児島学習定着度調査結果と学力向上への取組】

先月の1月に実施した鹿児島県学習定着度調査結果（5年生対象）をみると、昨年・今年と鹿児島県の平均を上回っています。着実に学力を身に付けていることが分かります。

国語は76.6(+1.6)、社会は83.2(+7.7)、算数は73.1(+3.7)、理科は77.5(+2.6)と今年も県平均を上回っています。（ ）の県平均との差を見ていただければ分かるように、全教科で県平均を1.6%から7.7%と上回り、着実に学力の定着を図っています。5年生は、6年生に進級すると、5月に全国学力・学習状況調査があります。さらに、学力アップを目指し、残りの3学期を充実した学習活動となるよう、子供たちや担任は励んでいます。

もちろん、他の学年も同様です。新学年に進級すると、標準学力検査(NRT)を行います。1・2・3年生は国語と算数、4年生以上は社会と理科も加わり4教科で実施します。この一年の学習成果を発揮できる機会でもあります。今、学校では、自分の学力を発揮できるように、単元テストの再活用や練習問題等を、授業の合間に行い、問題慣れをするよう努力しています。分かっていたのに問題文の意味を理解できなかったとか、見直しをしっかりとしなかったためにうっかりミスをしてしまったなど、自分の力を発揮できなかったということがないようにしています。そして、さらに高めるには、家庭学習が大切です。学校では限られた時間をなるべく有効に使い、効果的に学習を進めていますが、そこに家庭学習が加わることで、さらに学力が向上することは、全国学力・学習状況調査結果のデータからも明確です。家庭でも、子供がやる気を出す言葉かけをお願いします。「宿題は、やればいい。」という気持ちではなく、「今日学習したことを全部覚えているかな?」「明日の授業はどんな学習内容だったかな?」と考えて家庭学習に取り組んで欲しいと思います。声に出して覚えたり、ノートに書いて覚えたりすることで、脳が刺激され学習効果が上がることが、脳科学の分野で分かってきました。昔ながらの勉強法は、正しい方法だったということです。なるべく、声に出したり、手を動かしたりすることで、脳が活性化され、学習効果も上がりますから、家庭でも学習方法を考えさせて欲しいと思います。

【令和3年度に向けて】

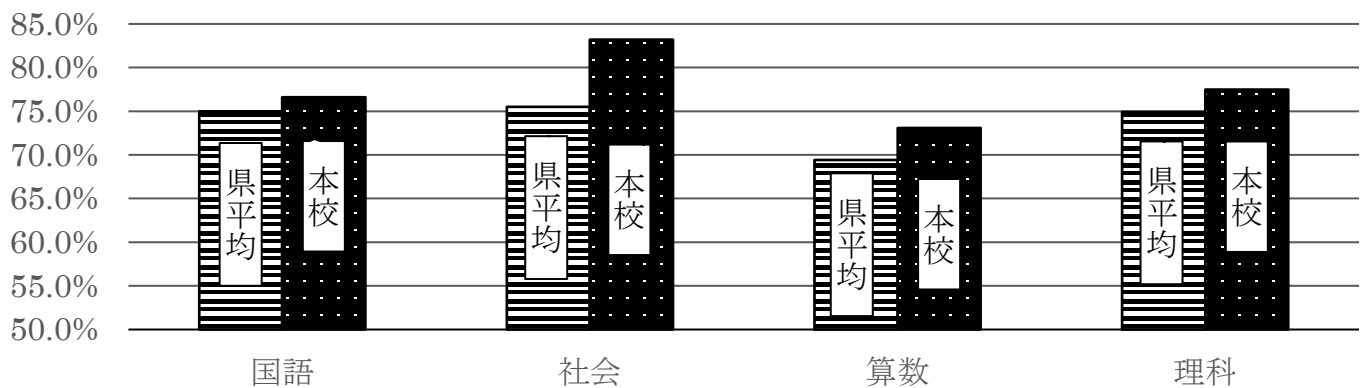
現在、令和3年度に向け、行事の調整や学習計画を作っています。この教育課程編成を行う際に例年と異なるのは、新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかということです。学校行事等も例年と同じような時期に計画を立てましたが、感染状況によっては、活動内容を見直しながらの実施になることも視野に入れて、教育課程編成作業を行っています。

また、PTA活動も同じく、令和3年度に向け、新役員の選出等を行っています。令和2年度はコロナ禍のために、PTA総会も紙面決議という方法で行い、球技大会や空瓶回収等も中止になりました。令和3年度は、通常通りに教育活動やPTA行事等が実施できるよう、願っています。ワクチン接種も始まりましたので、その効果に期待したいところです。

令和2年度「鹿児島学習度定着調査」 結果について

令和3年1月に、5年生で実施しました鹿児島学習度定着調査の結果の概要についてお伝えします。本校の子どもたちは、正答率では4教科とも県平均を上回っています。学習の問題に対して自分なりの考えをしっかりと、友達に説明したり、一緒に話し合ったりすることで、子どもたちに確かな学力が定着しています。しかし、学習内容については、確かな定着に課題もありますので、今後もその解決に全職員で取り組み、一人一人の子どもたちの学力向上に努めます。

今後は、次のような取組を多く取り入れ、学力の定着、向上に努めます。家庭学習の習慣化や充実に向け、ご協力くださるようよろしくお願い致します。



【国語】

- 「読む」・「書く」領域に課題が見られたので、目的や意図に応じて文を書いたり、叙述を基に想像しながら読みたりする活動を行う。
- 熟語や慣用句・ことわざ等に意識的に触れさせることで、言語事項の理解を深める。
- 身近なものなどをローマ字で表すなど、ローマ字の読み書きに慣れる活動を行う。

【社会】

- 分かったことをノートに整理する際は、資料から解釈したキーワードを使ってまとめる活動を行う。

【算数】

- 位取りや計算の順番に気を付けて、基礎的・基本的な計算が正確にできるよう繰り返し練習させる。
- 図、表、グラフ、資料等を基に考える問題の際は、それらの資料を関連付け、根拠を基にして自分の考えを記述したり、説明したりする活動を行う。

【理科】

- 実験や観察をノートに整理してまとめる際、実験前と実験後の変容をしっかりと比較させ、調べた事実は数値化して表やグラフ、絵図等にまとめ、分かったことを書き出す活動を行う。

松山小の働き方改革・業務改善について

松山小学校では、働き方改革に積極的に取り組んでいます。「なぜ学校における業務改善が必要なのか」、それは、学校において課題が複雑化・多様化する中で、教育課程を確実に実施し、質の高い教育を持続発展するためです。「学校だけで取り組めばよいのでは」と思われるかもしれませんが、よりよい教育環境を実現するためには、学校・家庭・地域が、教育目標を共有し、それぞれ何ができるかを考え、連携・分担していく必要があると考えます。現在重点的に取り組んでいることは、①業務改善に対する意識改革（適正な勤務時間の管理等）②事務の負担軽減と専門スタッフ等の活用（PC活用による事務の効率化、チーム学校としての組織的な業務化、学校応援団の活用）③授業準備の効率化（教材の共有化）があります。働き方改革は、単に仕事減らしではありません。教職員がもっと子どもと向き合う時間を増やしたり、授業の質の向上を図ったりすることで、教育の質の向上を最終的な目標にしています。連絡物のデジタル化やメールでの欠席届などに変更できないか検討中です。ぜひ保護者や地域の方々からも建設的な意見をいただくとありがたいです。

これからの行事予定

2月24日（水）学校保健委員会・家庭教育学級閉級式・学級PTA

3月 3日（水）PTA専門部会
24日（水）卒業式（1～4年生休業日）

5日（金）お別れ遠足

25日（木）修了式・離任式

4月 6日（火）新任式・始業式・入学式
13日（火）～16日（金）家庭訪問
22日（木）学級PTA・PTA総会・家庭教育学級

※ 変更（中止や延期も含めて）の際は、安全メールやホームページでお知らせします。

